

第4次佐用町地域福祉推進計画の令和4年度評価について

1. 担い手毎の評価の流れについて（8月21日評価委員会までの手順）

（1）みんなで取り組むこと（住民・自治会・地域づくり協議会等）

- 5月24日発送 民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員へ三者連絡会開催通知と一緒に進行管理・自己評価シートを発送し、事前に個人毎に評価依頼
- 6月13日～28日 各地区三者連絡会で個人毎の評価を持ち寄り、民生委員・児童委員のエリア毎に協議し、評価を決定（63エリア）
- 7月18日 各地区三者連絡会の集計結果を元に、作業部会で全町域の評価を実施
- 7月19日・26日 地域づくり協議会センター長会で、三者連絡会の集計結果及び作業部会での評価結果等を説明し、ご意見をいただいた

（2）社会福祉施設・民間事業所が取り組むこと（社協介護支援課も含む）

- 5月31日 佐用町社会福祉法人連絡協議会実務者会議時に、各法人へ進行管理・自己評価シート等を配布・説明の上、次回実務者会議（6月21日）までに自己評価をしていただき、提出していただくよう依頼
- 7月18日 各法人の集計結果を元に、作業部会で全町域の評価を実施

（3）社協が取り組むこと

- 5月15日 各事業担当者へ自己評価をするよう依頼
- 6月12日 各事業担当者の評価を元に、作業部会で一次評価を実施
- 7月12日 正副会長会へ一次評価結果を報告し、次回会議までに個人毎の二次評価を依頼
- 8月10日 正副会長会で二次評価を決定

2. 評価の決定方法について

（1）みんなで取り組むこと（住民・自治会・地域づくり協議会等）

（2）社会福祉施設・民間事業所が取り組むこと（社協介護支援課も含む）

評価点	基準
3点	平均点が2.7以上
2点	平均点が1.7以上2.7未満
1点	平均点が1.0以上1.7未満
0点	平均点が1.0未満

（3）社協が取り組むこと

社協内部の評価基準に基づき決定（8/10正副会長会前に作成）

3. 8月21日評価委員会での評価結果について

(1) 全体的な総括

成果 声かけ・見守り活動は、新型コロナ禍以降も総体的に出来ている

課題 ア. 住民活動の多様な場づくりが必要（職員が出向く機会を増やす）

イ. 情報提供・発信の工夫が必要（SNS等）

ウ. 防災に関しては、別途検証する必要がある（個人の防災意識が高いせいか、自治会・行政等、組織的な対応への評価が低い）

エ. 施設は、新型コロナと上手く付き合いながら、地域とのつながり構築が必要

(2) 活動目標毎の評価

別ファイル参照

(3) 社協事務局として感じたこと

成果 初めての取組方法だったが、多くの住民や施設の方々に評価に関わっていただいたことで、地域福祉への意識向上や計画の周知・啓発につながった

課題 ア. 各種制度や福祉情報の周知や広報活動が不十分

（関連項目：10、24、26、43、56、84、85、104、105）

イ. 住民のみなさんに対する福祉教育の機会が少ない

（関連項目：4、43、50、56、83、105）

ウ. ボランティアセンターが機能していない

（関連項目：13、14、15、16、23、24、26、27、28）

エ. 社協の防災に対する活動ができていない

（関連項目：81、82、83、84）

オ. 新型コロナ禍における、地域活動や住民活動等、多様な場づくりへの取り組みが不十分

（関連項目：21、52、68）

カ. 介護支援課の各種介護保険サービス事業において、地域との関わりが少ない

（関連項目：4、17、18、47、48、62、63、66、79、80、99、102）

4. 評価結果を踏まえ、令和5年度下期事業並びに令和6年度事業計画への反映について

(1) 令和5年度下期事業

上期の事業実施状況を確認の上、未実施事業並びに強化が必要な事業を抽出し、第4次計画の目標達成に向けて単年度で出来ることを検討し実施する

(2) 令和6年度事業計画（令和6年3月提出予定）

今回の評価を元に、計画最終年の令和7年度に向けて、目標達成に向け単年度で出来ることを検討し、計画に反映する。また、事業計画の表記方法を、推進計画に沿った形に改める。